

なるほど
フォト



ペットボトルのキャップで育つバジルの苗(東京都港区)

私の農園
ボトルキャップ

指先サイズでも立派な畑です——。ペットボトルのキャップをリサイクルして苗床にする「メリーファーマーキット」は、わずかな空間でも気軽に野菜を栽培できる。

農業とエコに関心を持つきっかけにと、広告のデザインなどを手掛ける水谷事務所(東京・港)が考案した。

キャップ2個分の土とバジルの種が入ったキットは150円。ふたに土を入れて種をまくと1週間

ほどで芽が出る。およそ半月後、プランターに植え替えて育てれば食材に使える。ブロッコリーやカイワレ大根など市販の種も育てられる。

さまざまな色のふたをそろえてレイアウトを工夫すると、部屋を彩るインテリアにも。考案した柄本綾子さん(25)は「植え替え用の鉢をペットボトルや紙コップで作れば、種まきから収穫まですべてをリサイクル品でできます」と話す。

日本経済新聞

夕刊
4月30日
(金曜日)

発行所 日本経済新聞社
東京本社 ☎(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 ☎(06)6943-7111
名古屋支社 ☎(052)243-3311
西部支社 ☎(092)473-3300
電子版アドレス
<http://www.nikkei.com/>
購読のお申し込み
☎0120-21-4946
<http://www.nikkei4946.com>